

スクールロイヤーってなんじゃらほい!

NHK土曜ドラマ「やけに弁の立つ弁護士が学校で吠える」で、クローズアップされた
スクールロイヤーとはいったい?どんな役割を担う人!?

日時: 2018年9月2日(日)
13:30~15:30

会場: ウィルあいち 第6会議室
名古屋市東区上野杉町1番地

参加費: 一般 800円
会員、学生 500円

定員: 30名(定員になり次第締め切ります)

講師: ^{たかはし}高橋 ^{なまつぐ}直紹 さん

氏名・参加人数・連絡先を明記の上、メール、
FAX、電話のいずれかでお申込みください。

ACNC News Letter



発行
特定非営利活動法人あいち・子どもNPOセンター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目14-12
グランビル2B
Tel&Fax: 052-232-3655

2018年度総会を終えて

2018年5月13日に、NPO法人あいち・子どもNPOセンターの通常総会を開催しました。初めて議長役を仰せつかりましたが、アットホームな規模と雰囲気の中でスムーズに2017年度の活動報告と決算、及び本年度の活動方針と予算が認められました。

当然のことですが総会の中では、これまでの活動実績とこれからの活動予定を一覧することができます。このNPOが、サポート・基盤整備、研修・学習、調査・提言、出版・広報、交流・ネットワーク、子どもの社会参画支援と、実に多彩なプロジェクトに関わっていることがわかります。決して大規模な組織ではありませんが、改めて「未来を担う子どもたちが健やかに育つ地域社会を実現する」という大きなミッションに向かおうとする前向きな姿勢を再認識するいい機会となりました。引き続き行われた学習会での話を伺っていると、やらなければならない課題の大きさ多さに思考が停止しそうでした。

とは言え机上で理想を熱く語るのは、ほどほどにすべきです。課題に直面する現場に出かけ、個別解決の道筋をクールに選択できることの必要性をつくづく感じます。毎日のように、子どもたちに関して理解することのできない深刻な事件や問題が報道されています。いったい日本という国の大人の良識はどこにいったのかと疑わざるを得ない状況です。しかし課題の大きさに途方に暮れていても、一歩も解決に近づくことができません。仕事柄、建築的観点から物理的環境整備の支援を行うことぐらいしかできません。できることならば子どもたちを巻き込んで、気持ちよく暮らすことのできる都市や建築のありように、子どもの思いや発想を埋め込んで行きたい、そう考えています。

総会后、愛知県教育委員会生涯学習課の富田正美課長による「若者未来応援事業の趣旨」と、名古屋市子ども青少年局企画経理課の山内加奈子課長による「名古屋市

の子ども施策の展開と子ども条例」の学習会を開催しました。

富田課長は「教育委員会は学校教育が中心だが、子どもたちが社会で自立するまでの支援が必要だと考えている。そこで昨年度『学びを通じたステップアップ支援促進事業』という国の事業に手を挙げ、『若者未来応援事業』を名古屋、豊田、豊橋で実施しました。参加者の成長・変化が見られ、ニーズの高い事業が実施できました。今年度は、支援か所数や支援時間の拡大を望む声に応えたい。」と語られました。

山内課長は、「平成20年4月に施行されたなごや子ども条例の目的は、子どもの権利及びその権利を保障するための市、保護者、地域住民等、学校等関係者及び事業者の責務を明らかにし、子どもに関する施策の基本となる事項を定めることにより、子どもの権利を保障し、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するまちの実現を目指すことです。なごや子ども条例に基づく総合計画として、子ども・若者・子育て家庭を支えるなごや子ども子育てわくわくプランが策定され、名古屋市の予算の多くが子ども関係に使われています。しかし、まだまだ子ども条例の認知度が低く、今後の課題は、子ども条例の認知度の向上、子どもの意見表明や社会参画の確保の確保などです」と語られました。

コラム

昼食交流会

総会后、理事一品持ち寄りの昼食交流会が開かれました。学習会にお招きしたお二人の話が聴きたいと、初めてあいち子どもNPOセンターに来ていただいた方もいらっしゃいました。そのうちのお一人、NPO法人ルーキーズの山田豪さんからお聴きた話をご紹介します。名古屋市八事が発祥の地といわれる高校野球に所属している部員は、全国で15~17万人と言われますが、そのうちの1割強の部員が毎年退部してしまうそうです。高校野球をするために特待生として入学した

生徒にとっては、野球部を退部することで、目標を失い、特別待遇がなくなり、野球部の寮からも立ち退きを迫られます。結果として、野球部を退部したために高校中退を余儀なくされる生徒が毎年数千人規模で生まれているというのです。そうした「夢を失い目的を失っていく高校生」のために、2010年にNPO法人が設立されました。生徒たちは、午前中は野球の練習をして、午後は通信制高校の勉強とアルバイトという生活の中で、もう一度野球によって人生を取り戻していくことを目指しています。最近では、サッカーでドロップアウトした生徒たちも集まっているそうです。お話を聴いていて、ぜひ一度見に行きたいと思いました。



発行: 特定非営利活動法人あいち・子どもNPOセンター
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目14-12 グランビル2B
TEL&FAX (052)232-3655 e-mail aichi-kodomo@mountain.ocn.ne.jp
HP http://aichi-kodomo.com

